



## SIP のダイヤル規則設定

管理者は、SIP のダイヤル規則設定を使用して SIP 電話機のダイヤルプランを設定し、次の SIP 電話機に関連付けます。

- Cisco SIP IP Phone モデル 7911、7941、7961、7970、および 7971：これらの電話機は、7940\_7960\_OTHER ダイヤル規則パターンを使用します。これらの電話機は Key Press Markup Language (KPML) をサポートしており、ユーザは、Dial ソフトキーを押さなくてもダイヤル文字列を Cisco CallManager に送信することができます。Cisco CallManager のパフォーマンスを向上させる（処理されるコールの数を増やす）には、管理者が SIP ダイヤル規則を設定することをお勧めします。
- Cisco SIP IP Phone モデル 7940 および 7960：これらの電話機は、7940\_7960\_OTHER ダイヤル規則パターンを使用し、KPML はサポートしていません。管理者がこれらの電話機に SIP のダイヤル規則を設定しない場合は、ユーザが Dial ソフトキーを押すか、所定の期間待機するまではダイヤル文字列が Cisco CallManager に送信されず、処理されません。ユーザがこの操作を余分に実行するので、実際のコールの処理が遅くなります。
- Cisco SIP IP Phone モデル 7905 および 7912：これらの電話機は、7905\_7912 ダイヤル規則パターンを使用し、KPML はサポートしていません。管理者がこれらの電話機に SIP のダイヤル規則を設定しない場合は、ユーザが Dial ソフトキーを押すか、所定の期間待機するまではダイヤル文字列が Cisco CallManager に送信されず、処理されません。ユーザがこの操作を余分に実行するので、実際のコールの処理が遅くなります。

管理者が SIP 電話機のダイヤルプランを設定せず、電話機が KPML をサポートしていない場合、ユーザは Dial ソフトキーを押す必要があります。管理者は、SIP のダイヤルプランを設定する場合、それらのダイヤルプランを SIP 電話機に関連付けて、ダイヤルプランがデバイスに送信されるようにする必要があります。

次の各項では、SIP のダイヤル規則設定について説明します。

- [SIP のダイヤル規則の検索 \(P.31-2\)](#)
- [SIP のダイヤル規則の設定 \(P.31-3\)](#)
- [SIP のダイヤル規則の設定値 \(P.31-4\)](#)
- [SIP のダイヤル規則の削除 \(P.31-7\)](#)
- [SIP のダイヤル規則のリセット \(P.31-8\)](#)
- [関連項目 \(P.31-8\)](#)

## SIP のダイヤル規則の検索

ネットワーク内にはいくつかの SIP のダイヤル規則が存在することがあるので、Cisco CallManager では、固有の基準を指定して、特定の SIP のダイヤル規則を見つけることができます。SIP のダイヤル規則を見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco CallManager Administration では、ブラウザ セッションでの作業中は、SIP のダイヤル規則の検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、SIP のダイヤル規則の検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** Call Routing > Dial Rules > SIP Dial Rules の順に選択します。

Find and List SIP Dial Rules ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 最初の Find SIP Dial Rules where ドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- Name
- Dial Pattern

**ステップ 3** 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから、次の基準のいずれかを選択します。

- begins with (前方一致)
- contains (中間一致)
- ends with (後方一致)
- is exactly (完全一致)
- is empty (空白)
- is not empty (非空白)

**ステップ 4** 必要に応じて適切な検索テキストを指定し、**Find** をクリックします。また、ウィンドウごとに表示する項目の数も指定できます。



(注) データベースに登録されている SIP のダイヤル規則をすべて検索するには、検索テキストを入力せずに **Find** をクリックします。

検出された SIP のダイヤル規則のリストが表示されます。

**ステップ 5** レコードのリストから、検索条件と一致する SIP のダイヤル規則をクリックします。

選択した SIP のダイヤル規則の SIP Dial Rule Configuration ウィンドウが表示されます。

### 追加情報

P.31-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## SIP のダイヤル規則の設定

SIP のダイヤル規則を追加または更新する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** メニューバーで、**Call Routing > Dial Rules > SIP Dial Rules** の順に選択します。

Find and List SIP Dial Rules ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次の作業のいずれかを実行します。

- 新しい SIP のダイヤル規則を追加するには、**Add New** ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 既存の SIP のダイヤル規則を更新するには、対象となる SIP のダイヤル規則を見つけて (**P.31-2** の「**SIP のダイヤル規則の検索**」を参照)、**ステップ 9** に進みます。

**ステップ 3** Dial Pattern ドロップダウン リスト ボックスから、7905\_7912 または 7940\_7960\_OTHER を SIP のダイヤル規則のタイプとして選択します。

**ステップ 4** **Next** ボタンをクリックします。

更新した情報を使用して、SIP Dial Rule Configuration がもう一度表示されます。

**ステップ 5** **表 31-1** で説明している情報を使用して、作成するダイヤル規則の名前と説明を入力します。**Save** をクリックします。

更新した情報を使用して、SIP Dial Rule Configuration がもう一度表示されます。

**ステップ 6** **表 31-1** で説明している情報を使用して、パターンの説明の名前を入力します。

**ステップ 7** 作成するダイヤルパターンのタイプに応じて、**Add Pattern** または **Add PLAR** をクリックします。



**(注)** Add PLAR ボタンが表示されるのは、7940\_7960\_OTHER ダイヤル規則の場合のみです。

更新した情報を使用して、SIP Dial Rule Configuration がもう一度表示され、ダイヤルパターンのパラメータを設定するための領域が表示されます。

**ステップ 8** **表 31-1** で説明している情報を使用して、Dial Parameter ドロップダウン リスト ボックスからパラメータのタイプを選択します。

**ステップ 9** ダイヤル規則について、適切な値、パラメータ、および説明を入力します (**表 31-1** を参照)。

**ステップ 10** 設定が完了したら、**Save** ボタンをクリックします。

### 追加情報

**P.31-8** の「**関連項目**」を参照してください。

## SIP のダイヤル規則の設定値

表 31-1 では、SIP Dial Rules Configuration ウィンドウ内で使用可能な設定値について説明します。関連する手順の詳細については、P.31-8 の「関連項目」を参照してください。

表 31-1 SIP のダイヤル規則の設定値


フィールド	説明
Dial Pattern	<p>所有している SIP 電話機のタイプに適合したダイヤルパターンを選択します。たとえば、ダイヤルパターン 7905_7912 は Cisco SIP IP Phone モデル 7905 と 7912 に適用され、ダイヤルパターン 7940_7960_OTHER は Cisco SIP IP Phone モデル 7911、7940、7941、7960、7961、7970、および 7971 に適用されます。</p> <p> (注) Cisco IP Phone モデル 7905、7912、7940、および 7960 は、KPML をサポートしていません。</p>
<b>SIP のダイヤル規則情報</b>	
Name	SIP のダイヤル規則の名前を入力します。たとえば、Long Distance などです。スペースと特殊文字を含めて、50 文字までの英数字を入力します。
Description	ダイヤル規則の簡単な説明を入力します。
<b>パターン情報</b>	
Pattern Description	パターンの説明の名前を入力します。たとえば、Emergency などです。
Delete Pattern	ダイヤルパターンを削除するには、このチェックボックスをオンにし、 <b>Delete Selected</b> ボタンをクリックします。
Dial Parameter	<p>このドロップダウンリスト ボックスから、このパターンのパラメータのタイプ（次のいずれか）を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Pattern</b> : 7905_7912 および 7940_7960_OTHER ダイヤル規則には、このパラメータを使用します。個々のパターンの形式については、P.31-5 の「パターンの形式」を参照してください。</li> <li>• <b>Button</b> : このパラメータには、ダイヤル パターンの適用先となる回線ボタンを指定します。ユーザが回線ボタン 1 に対してコールを発信すると、ボタン 1 に対して指定されているダイヤルパターンのみが適用されます。このオプションパラメータを設定しない場合、ダイヤルパターンはすべての回線に適用されます。適用対象となるのは、Cisco SIP IP Phone モデル 7940、7941、7960、7961、7970、および 7971 のみです。管理者は、ボタン番号を数値で入力する必要があります。ボタン番号は、電話機の画面脇にあるボタンの順序と対になっています。上から順に、1 が一番上です。回線ボタンは、Cisco SIP IP Phone モデル 7940 および 7941 には 2 つ、モデル 7960 および 7961 には 6 つ、モデル 970 および 7971 には 8 つあります。</li> <li>• <b>Timeout</b> : このパラメータには、システムがタイムアウトして、ユーザのダイヤルした番号をダイヤルするまでの時間を秒単位で指定します。番号がすぐにダイヤルされるようにするには、0 を指定します。このパラメータは、7940_7960_OTHER ダイヤル規則にのみ使用してください。</li> <li>• <b>User</b> : このパラメータは、ダイヤルされた番号に自動的に付加するタグを表しています。このタグで有効となる値は、IP および Phone です。大文字と小文字は区別されません。このパラメータは、7940_7960_OTHER ダイヤル規則にのみ使用してください。</li> </ul>

表 31-1 SIP のダイヤル規則の設定値 (続き)

フィールド	説明
Value	この表で説明しているダイヤルパラメータの値は、このフィールドに入力します。たとえば、PLAR の Button 1 には 1 を入力します。
Delete Parameter	ダイヤルパターンを削除するには、このチェックボックスをオンにし、 <b>Delete Selected</b> ボタンをクリックします。
Edit Parameter	既存のパラメータを更新するには、このボタンをクリックします。
Add New Parameter	パターンに新しいパラメータを追加するには、このボタンをクリックします。
Delete Selected	パラメータまたはパターンを削除するには、このボタンをクリックします。
<b>パターンの追加</b>	
Pattern Description	新しいパターンの名前を入力し (Longdistance など)、Add Pattern ボタンまたは Add PLAR ボタンをクリックします。
Add Pattern	Pattern Information ペインに新しいパターンを追加するには、このボタンをクリックします。
Add PLAR	Pattern Information ペインに新しい PLAR パターンを追加するには、このボタンをクリックします。

## パターンの形式

7905\_7912 パターンおよび 7940\_7960\_OTHER パターンについては、次の形式を参照してください。

### 7905\_7912 パターンの値

- ピリオド (.) は、すべての数字に一致します。
- ハイフン (-) は、以降に数字が入力される可能性があることを意味します。この文字が必要な場合は、個々の規則の末尾に使用する必要があります。たとえば、1408t5- は有効ですが、1408t5-3... は無効です。
- ポンド記号 (#) は、終了キーとして機能します。終了が適用されるのは、マッチングで ># にヒットした後のみです。このため、>\* は終了文字をアスタリスク (\*) にすることを意味します。つまり、終了キーは大なり記号 (>) の後に指定する必要があります。
- 「tn」 という文字列を使用すると、タイムアウトが *n* 秒に設定されます。



(注) *n* は、0 ~ 9、および a ~ z です。a ~ z は、それぞれ 0 ~ 26 を意味します。

- 「tn」 という文字列を使用すると、直前のパターンを *n* 回繰り返します。



(注) 「>#」 および 「tn」 は、パターンではなく修飾子です。*n* は、0 ~ 9、および a ~ z です。a ~ z は、それぞれ 0 ~ 26 を意味します。少ない文字列で多くの規則を表現するには、繰り返しの修飾子を使用します。

- 修飾子「S」を使用すると、規則のマッチングが終了します。つまり、規則に一致した時点以降に修飾子「S」が現れた場合、そのマッチング規則より後にあるその他の規則は、マッチングには使用されません。

## 7940\_7960\_OTHER パターンの値

- ピリオド (.) は、すべての文字に一致します。
- アスタリスク (\*) は、1 つまたはそれ以上の文字に一致します。\* は、ワイルドカード文字として処理されます。\* の前にバックスラッシュ (\) エスケープ シーケンスを置いて \\* というシーケンスにすると、\* を通常の文字として処理できます。\\ は電話機が自動的に除去するため、発信ダイヤル文字列には現れません。\* は、ダイヤル番号として受信された場合、ワイルドカード文字 \* とピリオド (.) に一致します。
- カンマ (,) を使用すると、電話機が第 2 発信音を生成します。  
例: 7,... は、7 で始まるすべての 4 桁 DN に一致します。8,..... は、8 に一致し、第 2 発信音を再生した後、すべての 5 桁 DN に一致します。

## SIP ダイヤル プランの規則の例

表 31-2 では、7905\_7912 ダイヤル規則に関するいくつかの SIP ダイヤルプラン規則の例を示します。

表 31-2 SIP ダイヤル プランの規則の例

パターン文字列	意味
.t7>#.....t4-	ダイヤル文字を少なくとも 1 つ入力する必要があります。送信は、入力の 7 秒後に発生します。終了の # 文字が適用されるのも、最初のダイヤル文字を入力した後です。7 桁入力すると、タイムアウトが 4 秒に変更されます。- 文字は、タイムアウトになるか # によって文字列を終了しない限り、以降も数字を入力できることを意味します。
911	すぐに送信されます。
1t7>#.....t1-	ダイヤル文字を少なくとも 1 つ入力する必要があります。送信は、入力の 7 秒後に発生します。終了文字の # が適用されるのも、最初のダイヤル文字を入力した後です。10 桁入力すると、タイムアウトが 1 秒に変更されます。- 文字は、タイムアウトになるか # によって文字列を終了しない限り、以降も数字を入力できることを意味します。
0t4>#t7-"	0 の後にダイヤル文字を入力しない場合、送信が 4 秒後に発生します。0 以降にダイヤル文字を入力した場合、送信は 7 秒後に発生します。この場合も、# は終了文字として機能します。

## SIP のダイヤル規則の削除

SIP のダイヤル規則を削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** Cisco CallManager Administration で、**Call Routing > Dial Rules > SIP Dial Rules** の順に選択します。
- ステップ 2** 削除する SIP のダイヤル規則を見つけます。P.31-2 の「[SIP のダイヤル規則の検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** 削除する SIP のダイヤル規則の横にあるチェックボックスをオンにして、**Delete Selected** をクリックします。  
  
SIP のダイヤル規則を削除すると取り消せないことを警告するダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** SIP のダイヤル規則を削除するには、**OK** をクリックします。削除操作を取り消すには、**Cancel** をクリックします。**OK** をクリックした場合は、Cisco CallManager は、その SIP のダイヤル規則を SIP のダイヤル規則リストから削除します。



- (注) 該当するダイヤル規則の横にあるチェックボックスをオンにして **Delete Selected** をクリックすると、Find and List SIP Dial Rules ウィンドウから複数のダイヤル規則を削除できます。**Select All** をクリックして **Delete Selected** をクリックすると、ウィンドウ内のすべての SIP のダイヤル規則を削除できます。

### 追加情報

P.31-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## SIP のダイヤル規則のリセット

SIP のダイヤル規則を更新したときに、SIP 電話機をリセットまたは再起動して、電話機を新しい SIP のダイヤル規則で更新する手順は、次のとおりです。

### 手順

- 
- ステップ 1** Cisco CallManager Administration で、**Call Routing > Dial Rules > SIP Dial Rules** の順に選択します。
- ステップ 2** リセットする SIP のダイヤル規則を見つけます。P.31-2 の「[SIP のダイヤル規則の検索](#)」を参照してください。
- ステップ 3** リセットする SIP のダイヤル規則をクリックします。
- SIP Dial Rule Configuration ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** **Reset** をクリックします。
- Device Reset ダイアログが表示されます。
- ステップ 5** 次のいずれかの項目をクリックします。
- **Restart** : 選択されたデバイスをシャットダウンせずに、再起動する (Cisco CallManager に電話機を再登録する)。
  - **Reset** : デバイスをシャットダウンして、もう一度起動する。
  - **Close** : 操作を実行せずに **Reset Device** ダイアログを閉じる。
- 

### 追加情報

P.31-8 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [SIP のダイヤル規則の検索 \(P.31-2\)](#)
- [SIP のダイヤル規則の設定 \(P.31-3\)](#)
- [SIP のダイヤル規則の設定値 \(P.31-4\)](#)
- [SIP ダイヤルプランの規則の例 \(P.31-6\)](#)
- [SIP のダイヤル規則の削除 \(P.31-7\)](#)
- [SIP のダイヤル規則のリセット \(P.31-8\)](#)
- 『Cisco CallManager システム ガイド』の「[ダイヤル規則の概要](#)」